

令和

3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	街路樹等管理事業	会計名称 予算科目	一般会計 8 款 2 項 2 目	事業番号	3480	担当課 所属長名	土木管理課 鍋田豊樹
事業評価の有無	■ 評価対象事業	□ 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	土居正英
法令根拠等	道路法					実施期間 【開始】	令和／平成 18 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 人に優しい道路・交通体系づくり					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	人に優しい道路・交通体系づくり						
事業の対象	利用者	事業の目的	街路樹等を常に良好な状態にし、道路利用者が安心して通行できるよう道路の機能を維持する。				
事業の内容 (整備内容)	委託による街路樹等の剪定・除草・消毒・施肥等	昨年度の課題に対する具体的な改善策	作業従事者への安全指導を実施する。				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直 接 事 業 費	1,299	1,554	0	0	0	1,490	委託件数	件	12	12	6	9
国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
県 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
地 方 債	0	0	0	0	0	0						
そ の 他	0	0	0	0	0	0						
一 般 財 源	1,299	1,554	0	0	0	1,490						
職員の人工(にんく)数	0.15	0.41				0.41						
1人工当たりの入件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+入件費	2,471	4,769				4,705						
主な実施主体	伊予市	実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)	委託									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)				4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	5年間の合計			
成 果 指 標	指 標	委託件数			单位	→	区分年度	前 年 度	3 年 度	4 年 度	目標	每 年 度
	指標設定の考え方	委託業務をできるだけ作業別にし、まとめて委託するようにして合理性を図る。					目 標	12	9	10		10
	指標で表せない効果	経費節減をすると安全性に問題が生じる。					実 績	12	9			

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		概ね妥当な時期に作業することができ、委託内容についても合理性を図ることができた。									
事務事業の評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。 5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決にならない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	職員で対応することで、コスト縮減を図った。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	4						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	3						
	一次判定（所属長）	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦労した点・課題	草刈、剪定は、作業時期が難しい。		
			コスト効率	5 4 3 2 1	3						
			市民（受益者）負担の適正	5 4 3 2 1	3						
		妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 適宜、維持管理作業を行い、視認性向上及び安全確保のため必要で、事業継続とする。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識	最適な時期に的確な剪定や消毒作業を行い、利用者の安全性や快適性を確保する必要がある。		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	3						
	効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
			コスト効率	5 4 3 2 1	3						
			市民（受益者）負担の適正	5 4 3 2 1	3						

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 適時・適切な維持管理に努め、突如の倒木などは重大事故に繋がる恐れがあるため、定期的な目視・触手点検を講じること。 <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議 の 議 事	事業の方向性	コメント欄
		<input type="checkbox"/> さらに重点化する。
		<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。
		<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。